

1 本書は、特別徴収の（個人の市町村民税・道府県民税（住民税）・森林環境税（国税）を給与を引いている又は特別徴収の給与支払報告書を提出した
した場合に提出いただく用紙です。提出期限は、該当の従業員等の異動があつた月の翌月10日までです。従業員等の住所変更のみの場合は、提出不要です。
2 機械読み取りを行う場合がありますので、太枠内へ記入してください。訂正する場合は二重線で抹消してください。異動（退職・転勤等）
3 給与所得者本人が国外に出国されるなどの場合は、納税管理人の届出が必要となります。詳しくは、市町村へお問い合わせください。

受付印

7

給与支払報告 に係る給与所得者異動届出書
特別徴収

整理番号

市町村長 令和 年 月 日 提出		所在地 （特別徴収義務者） 給与支払者		個人番号又は法人番号 （右詰めでご記入ください）		課税 氏名 電話番号 内線		6年度 特別徴収 指定番号 宛番号		7年度 特別徴収 指定番号 宛番号					
フリガナ		新		（ア） 特別徴収税額 （年税額）		（イ） 徴収済税額 例）11月10日納期限分の場合→10月分		（ウ） 未徴収税額 （ア）－（イ）		異動年月日		異動の事由 ※事業主及び従業員の希望のみによる 普通徴収への切替はできません。		異動後の未徴収税額の徴収方法	
氏名		姓		円		月分から 月分まで		月分から 月分まで		令和 年 月 日		番号を記入 1. 転勤・転籍 2. 退職 3. 死亡 4. 休職 5. 長欠 6. 支払少額 7. 支払不定期 8. その他 8. その他の理由を右欄へ記入		番号を記入 ① 特別徴収継続 ② 一括徴収 ③ 普通徴収（本人が納付）	
生年月日		元号 1. 明治 2. 大正 3. 昭和 4. 平成 年 月 日		円		円		円		令和 年 月 日		番号を記入		番号を記入	
個人番号		現在		円		円		円		令和 年 月 日		番号を記入		番号を記入	
住所		異動後		円		円		円		令和 年 月 日		番号を記入		番号を記入	

1 特別徴収継続の場合（給与所得者が、新しい勤務先で特別徴収を希望する場合に記入してください。）

新しい勤務先 （特別徴収義務者）		所在地 フリガナ		特別徴収指定番号		担当氏名 電話番号		新しい勤務先へは、 月割額 円 を 月分 （翌月10日納期限）から徴収し、納入するよう連絡済みです。 ※新しい勤務先へ月割額をお伝えください。	
フリガナ		法人番号		円		円		円	
受給者番号		納入書の要否 （新規の場合のみ記載）		番号を記入 ① 必要 ② 不要		円		円	

2 一括徴収の場合（未徴収税額を一括徴収する場合に記入してください。）

番号を記入 1. 異動年月日が12月31日以前でかつ本人からの申出があつたため。 2. 異動年月日が1月1日以降でかつ特別徴収の継続の希望がないため。		徴収予定額 （（ウ）と同額）を 右欄に記入		円		左記の一括徴収した税額は、 月分（翌月10日納期限）で納入します。	
---	--	-----------------------------	--	---	--	-----------------------------------	--

3 普通徴収の（一括徴収しない）場合（①及び②に当てはまらない場合に記入してください。）

番号を記入 異動年月日が1月1日～4月30日の場合は、原則、一括徴収してください。 1. 異動年月日が6月1日～12月31日でかつ本人からの申出がないため。 2. 異動年月日が1月1日～4月30日でかつ給与及び退職手当等から未徴収税額（ウ）を一括徴収できないため。 3. 死亡による退職のため。		円	
---	--	---	--

旧特別徴収処理欄	6年度	月分以降の月割額は	1 特別徴収義務者を変更 2 普通徴収切替 3 一括徴収 4 その他	入力者	点検
	7年度	月分以降の月割額は	1 特別徴収義務者を変更 2 普通徴収切替 3 一括徴収 4 その他	入力者	点検

市町村処理欄

A	B	C	D	E	F
G	H	I	J	K	L